



平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日  
東

上場会社名 株式会社オルトプラス 上場取引所  
 コード番号 3672 URL <http://www.altplus.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 石井 武  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO執行役員 財務・経理部長 (氏名) 竜石堂 潤一 (TEL) 03-4577-6701  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	616	△15.2	△225	—	△228	—	△245	—
27年9月期第1四半期	727	4.1	△148	—	△142	—	△96	—
(注) 包括利益 28年9月期第1四半期	△237百万円( —%)		27年9月期第1四半期		△92百万円( —%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	△27.26	—
27年9月期第1四半期	△10.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第1四半期	2,216	1,655	73.5
27年9月期	2,459	1,921	78.0
(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期	1,628百万円	27年9月期	1,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年9月期の期末配当金は、現在未定であります。

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当第1四半期より株式会社オルトダッシュを連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年9月期1Q	8,989,400株	27年9月期	8,989,400株
② 期末自己株式数	28年9月期1Q	一株	27年9月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年9月期1Q	8,989,400株	27年9月期1Q	8,875,835株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において四半期財務諸表に対する四半期レビュー報告手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 四半期決算補足資料につきましては、四半期決算の発表後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府と日銀による経済政策及び金融政策等の推進により、景況感には改善の動きが見られたものの、消費者物価の上昇や新興国を中心とした海外経済の低迷から、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。国内のインターネット利用環境につきましては、スマートフォン及びタブレット型端末によるインターネット利用が引き続き増加しております(注)。

このような事業環境の下、当社グループは引き続きソーシャルゲームの企画、開発及び運営を行ってまいりました。当第1四半期連結会計期間におきましては合計5タイトル(国内マーケット向けネイティブゲーム2タイトル、ウェブブラウザゲーム2タイトル、ベトナムマーケット向けネイティブゲーム1タイトル)をリリースいたしました。一方、国内マーケット向けネイティブゲーム1タイトルにつきましては運用を終了いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末における運営タイトル数は、前連結会計年度末より運営している14タイトルを合わせ、合計19タイトル(国内17タイトル、海外2タイトル)となりました。

ベトナム子会社につきましては、当社ソーシャルゲームの開発及び運営だけではなく、他社ウェブサービス等の開発及び運営業務を行うオフショア開発拠点としての事業展開を積極的に進めることにより、案件数を積み上げてまいりました。韓国子会社につきましては、前連結会計年度にリリースしたネイティブゲームを運用するとともに、アジアマーケットをターゲットとしたネイティブゲームの開発を引き続き進めております。

運営中のタイトルにつきましては、引き続き運営の効率化を進め、売上減少に見合うコスト削減を実施することにより採算性を維持してまいりましたが、新規タイトルの開発コスト並びに管理費等の共通コストが運営中のタイトルによる利益を上回って推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は616,525千円(前年同四半期比15.2%減)、営業損失は225,007千円(前年同四半期は148,389千円の営業損失)、経常損失は228,132千円(前年同四半期は142,041千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は245,055千円(前年同四半期は96,139千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

(注)総務省「通信利用動向調査」

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,216,282千円となり、前連結会計年度末に比べ243,590千円減少いたしました。流動資産は1,499,932千円(前連結会計年度末比192,801千円の減少)となりました。これは主に現金及び預金の減少107,818千円、売掛金の減少20,631千円によるものであります。固定資産は716,350千円(同50,789千円の減少)となりました。これは主に投資その他の資産の減少37,314千円によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は561,047千円となり、前連結会計年度末に比べ22,771千円増加いたしました。流動負債は419,556千円(前連結会計年度末比69,395千円の増加)となりました。これは主に未払金等の増加による流動負債のその他の増加によるものであります。固定負債は141,491千円(同46,623千円の減少)となりました。これは、長期借入金の返済によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,655,234千円となり、前連結会計年度末に比べ266,362千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失金額の計上245,055千円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、ソーシャルゲーム事業を展開しておりますが、ソーシャルゲーム市場を取り巻く環境の変化が激しく、当社グループの業績も短期間で変動する可能性があることを踏まえ、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから、業績予想の開示を見合わせます。なお、期中の業績の進捗を踏まえ、算定が可能になり次第速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことにより、株式会社オルトダッシュを連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度におきまして営業損失926,250千円、経常損失934,845千円、親会社株主に帰属する当期純損失1,016,379千円となり、当第1四半期連結累計期間においても営業損失225,007千円、経常損失228,132千円、親会社株主に帰属する四半期純損失245,055千円となりました。このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象等が存在しておりますが、当第1四半期連結会計期間末日における現金及び預金残高は575,869千円であり、当面の十分な手元資金を確保しております。

また、当社グループは、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況を早期に解消又は改善するため、以下の対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、連結財務諸表への注記は記載しておりません。

### ① 運営タイトルの選択と集中による売上の維持拡大と開発コストの削減

当社グループが運営するタイトルのうち、今後も主力と位置付けたタイトルに対して優先的に開発・運営人員を再配置することにより、売上の維持拡大を図ってまいります。また、採算性の低下したタイトルにつきましては順次サービス運営を終了するとともに、当該タイトルの担当者を他社タイトルの運営移管業務等に再配置して、売上の積み上げを行ってまいります。開発業務など外部への外注費については、サービス運営を終了したタイトルの担当者を再配置し、内製化を進めることにより削減を引き続き進めてまいります。また、デバッグ並びにユーザーサポート業務については合弁会社である株式会社SHIFT PLUSへ業務移管することにより、対象業務の人件費削減を進めてまいります。

### ② 開発中タイトルのスケジュールどおりのリリースと開発費用の早期回収

当社グループは、開発費用について発生時費用処理としていることから、開発費用が収益に対し常に先行するとともに、ウェブブラウザゲームからネイティブアプリに開発がシフトしたことにより、開発期間も伸長しております。タイトルのリリースの遅れが収益悪化の大きな要因となることから、今後は開発タイトルをより絞り込むとともに、開発工数の見積り並びに開発中の工数管理をより精緻に行うことにより、リリースの遅延を最大限抑制してまいります。また、開発したタイトルについて、海外配信権を現地パブリッシャーに譲渡する等により、開発費用の早期回収を進めてまいります。

### ③ 海外子会社の収益向上

海外子会社の2社（ベトナム・韓国）は、グループ収益への貢献がない状況であります。ベトナム子会社においては開発業務の受託を進めることによりグループ外売上を引き続き増加させていくとともに、韓国子会社においては引き続きアジア市場を見据えたネイティブアプリの開発及び運営を進めて行くことにより、グループ収益へ貢献するための施策を進めてまいります。

### ④ 経費の削減

開発部門につきましては業務委託費用の削減、人員削減によるコスト削減を進めており、間接部門につきましては本社オフィスの拠点集約や人員の削減並びに配置見直し等による人件費削減を進めております。各種経費につきましては、今後も継続的に見直しを行い、削減を進めてまいります。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	683,687	575,869
売掛金	450,657	430,025
繰延税金資産	328,170	312,002
その他	230,218	182,035
流動資産合計	1,692,733	1,499,932
固定資産		
有形固定資産	113,081	105,141
無形固定資産		
のれん	39,722	35,138
その他	30,246	29,295
無形固定資産合計	69,968	64,434
投資その他の資産		
差入保証金	378,333	378,456
その他	205,755	168,316
投資その他の資産合計	584,088	546,773
固定資産合計	767,139	716,350
資産合計	2,459,873	2,216,282
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	26,608	29,932
未払法人税等	137	2,743
その他	323,415	386,881
流動負債合計	350,161	419,556
固定負債		
長期借入金	186,766	139,138
その他	1,348	2,353
固定負債合計	188,114	141,491
負債合計	538,276	561,047
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,292,759	1,292,759
資本剰余金	1,281,759	1,281,759
利益剰余金	△659,079	△957,743
株主資本合計	1,915,439	1,616,775
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,078	11,742
その他の包括利益累計額合計	4,078	11,742
新株予約権	2,079	2,038
非支配株主持分	-	24,678
純資産合計	1,921,596	1,655,234
負債純資産合計	2,459,873	2,216,282

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	727,345	616,525
売上原価	653,289	594,208
売上総利益	74,055	22,316
販売費及び一般管理費	222,445	247,324
営業損失(△)	△148,389	△225,007
営業外収益		
受取利息	9	12
雑収入	423	219
為替差益	6,447	-
その他	-	455
営業外収益合計	6,879	687
営業外費用		
支払利息	356	783
為替差損	-	296
雑損失	174	2,731
営業外費用合計	531	3,812
経常損失(△)	△142,041	△228,132
特別利益		
新株予約権戻入益	-	40
特別利益合計	-	40
税金等調整前四半期純損失(△)	△142,041	△228,091
法人税、住民税及び事業税	1,254	617
法人税等調整額	△47,156	16,167
法人税等合計	△45,901	16,784
四半期純損失(△)	△96,139	△244,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	178
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△96,139	△245,055

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△96,139	△244,876
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,229	7,663
その他の包括利益合計	3,229	7,663
四半期包括利益	△92,910	△237,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△92,910	△237,391
非支配株主に係る四半期包括利益	—	178



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、ソーシャルゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。